

令和4年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 永犬丸西 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数、理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、算数、理科)

教科に関する調査(国語、算数、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

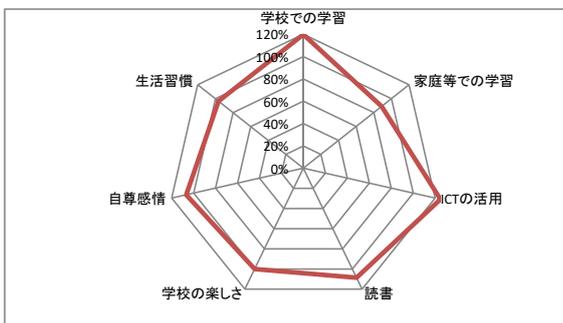
(1) 全国・本市の学力調査(国語、算数、理科)の結果

本年度の結果	国語		算数		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.9	64	9.8	61	10.4	61
全国	9.2	66	10.1	63	10.8	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	内容別で見ると、「思考力・判断力・表現力」が優れており、特に「書くこと」が優れている。反対に「知識及び技能」が下回っており、特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける問題。	
	努力が必要な問題	話し言葉と書き言葉の違いを捉える問題。漢字を文の中で正しく使う問題。	
算数	全体的な傾向や特徴など	領域別に見ると、「数と計算」が優れている。「図形」「変化と関係」「データの活用」については、全国平均とほぼ同程度である。	全国平均正答率との比較 同程度である
	よってきた問題	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述する問題。	
	努力が必要な問題	示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、何の図形になるかを判断する問題。	
理科	全体的な傾向や特徴など	領域別に見ると、「粒子」「地球」を柱とする領域が優れているが、「生命」を柱とする領域に課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	メスリンダーという器具についての問題。水蒸気についての問題。	
	努力が必要な問題	昆虫の体のつくりに関する問題。提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつ問題。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・自尊感情が高く、将来の夢や目標をもって、難しいことでも失敗を恐れないで挑戦しようとする児童が多い。 ・ICT機器を使った授業に熱心に取り組み、スキルも向上している。 ・学んだことを生かしながら自分の考えをまとめたり、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など、新しいものを創り出す活動を積極的に行っている児童が多い。 ・家庭学習の時間、スマートフォン、ゲームの使い方など家庭での約束事を守ることにについて、全国平均を下回っている。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・言語力を高める取り組みとして、10分間読書、漢字を文の中で正しく使う練習を行う。
- ・今後も継続して、ノートに自分の考えを書いたり、振り返りを書く活動を授業に位置付ける。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・読書・漢字学習を含めた、家庭学習の課題の出し方、内容(特に土・日)について見直す。
- ・携帯電話やスマートフォン、PCの使い方についての約束、時間について、児童には健康教育や道徳の時間を使って指導する。保護者へは、ホームページ、学校通信、家庭教育学級などで啓発する。